

ひろば大代

NO.350

大代公民館

H20.9.23

祝敬老の日

九月十四日(日)大代町敬老会が小学校体育館で開催されました。かわいい幼稚園児の歌や踊り、また小学生による小学校校歌合唱や合奏、中学生による田植え囃子や有志による踊りなど披露され、楽しいひと時を過ごされました。



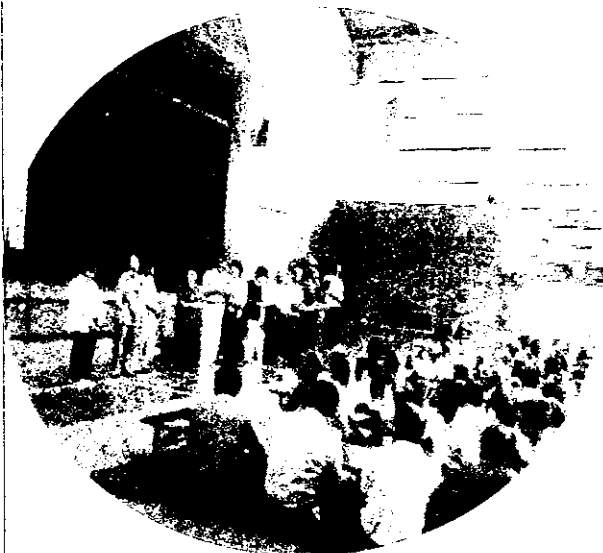
「今日は楽しかったでな。また来年も元気で会おうでなあく。」
皆さんいつまでもお元気で過ごしてください。



♪ポニョ、ポニョお魚の子〜♪♪#



♪流れさやかな八反田〜…♪♪



最高齢者木村豊子さん 96歳

敬老の日特集 喜寿によせて

山田 坂本静子



謝辞 日向寿会長

暦の上では立秋だというのに、毎日暑い日が続きますね。この度「喜寿によせて今の気持ちを書いてほしい」と原稿依頼があり、思案いたしました。自分なりに振り返ってみますと……私には七十七才、月日の経つのは早いもので戦中・戦後の食糧難の時代を過ごし、そして現在の社会を生き抜いているのですが、社会も大変様変わりし、住みよい社会になりました。

私も、子供を四人、孫十一人、ひ孫四人に恵まれ、盆、暮、正月に帰ってみんなの顔を見せてもらい、孫、ひ孫

たちから元氣をもらい皆の成長を楽しみに暮らしております。

地域の皆様に生かされ、喜寿を迎えることが出来、大変うれしく思っております。私は、花を観たり育てることが好きです。花も子供も育てることとは一緒に愛情をかけて、手間ひまかけてやることで素敵な花を咲かせてくれます。

若い時は、兎の様に勢いよく、がむしゃらに人生を毎日過ごしてきましたが、今は、亀さんの様に歩みはのろいですが、一歩一歩を大事にコツコツと毎日の暮らしを大切に過ごしていきたいです。

喜寿に思う

上市 中垣貞義



突然の投稿依頼で、ひろば大代に今

の気持ちをとの事、喜寿お目出度うと言われ、もうこんな歳になったかと感じている今日此の頃です。

年甲斐もなく雑用に追われる日々を過ごし人生の節目を忘れ喜怒哀楽の分別なく無心に過ごす状態を情けなく有り難く思います。後期高齢者と札を貼られても、生き抜くためには如何なる困難辛苦も耐え忍ぶ以外道は有りません。こんな年齢になる迄、世の中の皆さん方のご指導ご鞭撻を賜り生きて参りました。

今宇宙はロケットが飛び世界は核の脅威と目まぐるしい中、突然お目出度うの言葉を頂き、日本は安全で平和な国だと有り難く思います。

過去のことは取り返し出来ません。現在の世の中は時代の移り変わりと認識し未来に向け世界人類、世の為、人の為、自分の為と残された人生を能力、技術、体力を精一杯駆使して頑張つて喜寿を過ごしたいと私の非力者の願いです。

恒例の祝賀行事につきましては公民館始め関係各位皆さんの多大なるお心遣いに対し感謝の言葉以外有りません。

少子高齢化と言いますが、高齢には

限度があり、少子は工夫努力で変える事が出来ます。若い皆さん一層の努力を期待します。暗いニュース、悲しい出来事を嘆いているだけではなく、若者が自覚し強い力で払拭し、最高の世界が早期に来る事を切望致します。

今年喜寿を迎える皆さんも自分の身上を理解し若い人に迷惑を掛けないようお互いに頑張りましょう。そして健康には充分注意して来年も全員元氣な笑顔で再会し楽しく語り合ひましょう。

喜寿を迎えて

柿田 谷口俊美



実りの秋を迎え黄金に波うつ田圃をみて、今年もよく出来たと思うこの頃です。私は縁あって当時の今田組合長にすすめられ大代農協に入り、合併により大田市西部農協、ついで大田市農協と勤め、本当にその間は皆々様方のお世話になりました事を厚く御礼申し上げます。

退職後は農業をしながら大田市農業委員をしていたところ、脳出血により

倒れ大田市立病院および呉市の中国労災病院で延べ五ヶ月の入院生活を送りました。この間も関係者の皆様に大変御世話になり有難うございました。その後リハビリを続けながら、今では車の運転には慣れましたが言語障害が残り大好きな流行歌が一切歌えません。

友人の訃報を聞き、新聞でみるたびに、いつしか我が身と思えば、なんのこれしきと思いつつあるこの頃です。私も喜寿を迎える事となりました。私をこの日まで支えてくれた家族に心より感謝をしております。敬老会に出席して、皆さんの顔をみるのが楽しみです。今日は本当に有難うございました。



大田第三中学校吹奏楽部 「中国大会二年連続出場」

大田第三中学校吹奏楽部 保護者

八月一日、大田市民会館において全日本吹奏楽コンクール島根県大会が行われ、小編成の部で大田第三中学校吹奏楽部は十年連続金賞、二年連続中国大会の出場権を得ました。



大田三中

この歴史ある三中吹奏楽部で大代の子供たちは全部員十五人中八人を占めています。
この夏の大会に挑むべき子供たちの練習は春から始まります。夏休み中

も、休みなく朝から夜まで楽器を吹き、先生のきつい？指導を受ける毎日を続けてきました。時には指揮棒が飛んできたり、時には意見の相違から部員同士で何度も話し合ったり。

三中の音は『どうしてそんな軟らかい音が出るんですか？』と他校の保護者から聞かれたことがあります。専門家では無いのでわかりませんが、山間部で穏やかな空気のもとに育った生徒の奏でる音は自然とそうなのかもしれません。

悲しくて涙を流したり、嬉しくて笑ったり、と同じようにすべてが素直に音楽に表現されているかもしれませぬ。(ちよつと誉めすぎ?)

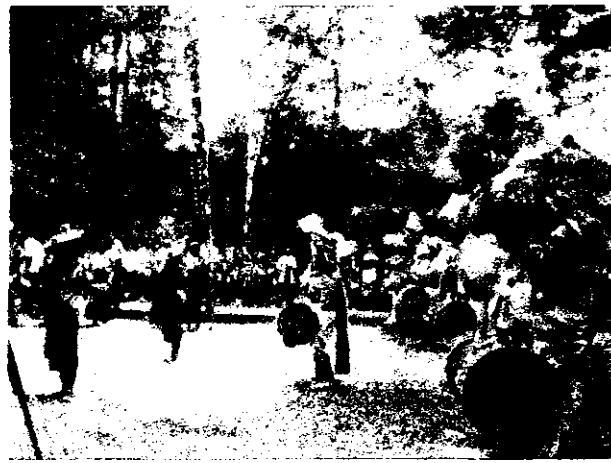
さて八月下旬岡山県倉敷市で行われた中国大会は惜しくもあと一点で金賞を逃し銀賞でした。でも子供たちからもらった感動は『金賞』に値すると同じ保護者の方も言われていました。

いつまでも三中サウンドを弾き続けてほしいと思います。

しかし少子化の波は三中まで及び、今の三年生が卒業すると吹奏楽部の存続自体にも大きな影響が出てくるほど

の人数（五人）しか残りません。
この『ひろば大代』は都会で過ごされて
いる方にも読んでいただいと聞きまし
た。通常二十五人前後の小編成の部に
この大代で過ごしている八人を含め、
たった十五人の部員たちが県を越えた
舞台で活躍していることを少しでもわか
っていたただけたならと思います。

十七夜公演



三年間田植囃子をして

中3年 横手晶太

田植囃子の練習はとて大変でした。自分
は三年間、ざいふりをしました。

一年の頃はふりを覚える事でせい
っぱいで歌は全然歌えませんでした。

二、三年時は人数が減ってきた事
もあって、ざいふりは自分一人だけ
になりました。少ない練習日数の中
で歌とふりを覚えるのは大変でした。
十七夜公演では人が大勢いる中
で歌うので緊張しました。けれど
回を重ねるごとにそれも少なくな
り、人前でも、ちゃんと歌えるよ
うになりました。

田植囃子は大変だったけれど、
他では経験出来ない事が出来まし
た。そして伝統を守っていくこと
の大切さを知りました。

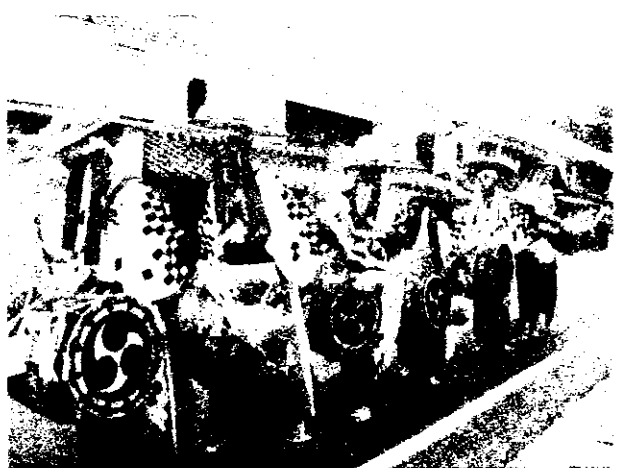
田植囃子を通じて

中3年 山根佑介

僕は、三年間田植囃子をして一番
変わったことは、覚えることでした。
なかなか覚えることができなくて
けっこう苦労しました。でもできた
時の達成感はずごく気持ち良かっ
たです。それに大代の伝統を少し
でも守れたことが嬉しかったです。
これからの伝統を守ってほしい
です。

田植囃子

中3年 山根ほのか



私は、この大代で伝統である田植
囃子をやることができ、とてもうれ
しいです。

今は、中学校のことで大代に
いることが少ないですが、田植囃
子をやることにより大代に
いることが多くなり、大代
の各地区から来られる地域の
皆さんと話すことも楽しい
です。

地域の皆さんと話をしてい
ると改めて地元はいいなと思
いました。

田植囃子をやることので
きるのも地域の皆さんのお
かげだと思います。本

当にありがとうございます。

これからも伝統ある田植囃子を続けてほしいです。

開かれた村 賑やかな村

独立行政法人 農村工学研究所

都市農村交流研究チーム

主任研究員 山下裕作

もう5〜6年になるでしょうか。大代の皆様に様々なことを、教えていただいております。いつもいつもありがとうございます。

今年、8月はじめにもまた、大代の道を歩かせていただきました。八反田、椿、柿田の集落をめぐる道筋を、です。明るく開けた谷筋の、少し高いところをぐるりと廻る村の道。途中3つの橋をわたり、清らかな八反田川の川風を感じ、ポリユームのある大きな大江高山を臨み、遙か遠く、青い青い空をたなびく白い雲を眺めながら、ゆつくりと歩かせていただきました。距離にして3〜4kmでしょうか。とても清々しい道行きでした。



私が初めて大代を訪れたとき、島根大代は全体として、まだ寂しいところでした。現在、石見銀山が世界遺産に認定され、大森の周辺は大変な賑わいになっております。賑わうことが必ずしも良いこととは限りませんが、よく言われる経済効果も、賑わったからと言って必ずしも得られるものでもありません。しかし、なにかしら活気づくということとは、住む人の心根をなんとなく明るくさせ、様々な可能性に目をむけられるようになるのかも知れません。今、大森の町並みは色々なアイデアであふれかえっています。

ただ、この石見銀山、そもそも周辺の農村から掘り手の方々、木炭や食料、そして精錬や選別をとある農村に任せていたと聞きます。周辺の村々がなければ銀山自体が成り立たなかったわけです。しかし、今、現在の様子を見るに、世界遺産になって盛り上がっているのは大森と温泉津だけ。まあ賑わうのも大変でしょうが、なんとなくかねて銀山を支えてきた周辺の農村はおいでけぼりを喰ってる印象があります。多くの観光客がいらっしやって、賑

わって賑わって大変なのですから、やっぱりその大変さも、周囲の村々と一緒になって支えていった方が良いのではないかと私には思えてなりません。また、大森の町並みがあるとはいうものの、今のところ一回来れば良い観光地の域を出ていないようにも思うのです。

しかし、大代の風景、仕事としてですが、何度も拝見して、このたび自動車ではなく、また川の中からではなく、久々に集落を巡る道筋をゆつくりあるかせていただきました。青々とした風景。そこかしこに煌めく田の水面。稲葉や木々に触れる風の音。ハエンゴや大きな亀が潜む川のせせらぎ。暑い中で、どこかひんやりとした雲の陰。目や耳や鼻や肌で感じるものが、全て穏やかにしみ通ってくるようです。こうしたことこそ、何度経験しても新鮮で、そ



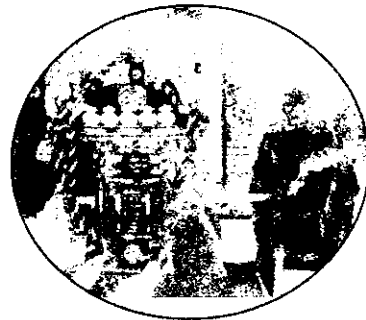
して離れると、またそれを感じたくなる快い感覚です。何度も何度も訪れたくなる大代の風景です。

今、世の中はウォーキングブーム。

銀山に来る人だって、歩くのが好きな人がいっぱい居るでしょう。お蕎麦の好きな人も大勢います。そしてまた、気持ちの良い人、親切な人、素晴らしい人も沢山いるはず。そういう人々は大代のことを必ず好いてくださります。そして、大切なのはやっぱり自分の故郷でしょうが、僅かな時間ではあるうとも、大代とともに過ごしてくださり、大代の人々のためになつて下さると思います。大代にはそうさせてしまう魅力が沢山あるのです。そういうように、お互いに利益を、満足感を持って交換しあうこと、それを何らの照れや押しつけがましいことなく行うこと、それこそが「儲ける」ということです。

多くの人がきて、大代を歩き始めたら、それはまた面倒なことかもしれない。しかし、一方で楽しいことなのかも知れません。思い起こして下さい。盆踊り、夏祭り。色々な村の人が、

カラシコロシと下駄はいて、皆さんの村へおいでてくれませんか？ してまたいろんな村のお祭りへ、カラシコロシと下駄をならして、皆さん遊びに行きませんか？ してまたいろんな村のお祭りへ、カラシコロシと道の脇の小暗いところで、意中の異性とドキドキしながら語らつたり、他所の集落の若者と、ちよつとした静いになつたりして・・・、賑やかしく、そして楽しかつたのではないのでしょうか。それは村に人が多かつたからでもあります。他所から村へ多くの人が、楽しんでやって来たからでもあるのです。



今、色々なチャンスが、そこかしこに散らばっています。皆さんが培つた、有能な手や足、目や鼻や舌、そして肌や感覚、なにより頭脳を、身近なチャンスを探り活かすことに使つて、未来を明るくものにしてやりましょう。いろいろ、乱雑に書き散らしました。私これからも大代をウロウロさせてい

たきます。何とぞよろしくお願いいたします。

違法・有害情報から

子どもを守りましょう！

大代駐在所



10月行事予定

- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- ▼ 5日(日) 町民運動会
- 午前9時〜小学校校庭にて
- ▼ 19日(日) 大江高山登山道草刈
- ▼ 19日(日) 福祉弁当
- ▼ 21日(火) さくらんぼ教室
- ▼ 23日(木) 連合自治会

お知らせ

○大代地区社協より

本郷 二又文夫様から

香典返しにかえ金一封のご厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。